

< あなたの治療について >











血内-R-BAC-リンパ腫-q4w

今回の治療は、R-BAC 療法という治療法で、リツキシマブとトレアキシシ(TRA)とシタラビン(Ara-C)という3種類の注射薬を併用して行います。リツキシマブ、トレアキシシ、シタラビンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1～4日目に点滴を行います。2回目以降は3日間で行います。この治療を4週間(28日間)ごとに4～6回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2日目	3日目	4日目	5～28日目
	コカール レスタミン (熱・アレルギーを抑える薬)	内服		お休み			
	リツキシマブ (抗がん剤) 375mg/m ²	点滴 約25ml/時					
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分	お休み				お休み
	トレアキシシ (抗がん剤) 70mg/m ²	点滴 約1時間				お休み	
				2時間間をあける。			
	シタラビン (抗がん剤) 800mg/m ²	点滴 約3時間					

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

リツキシマブとトレアキシシとシタラビンについて

白血球数減少、好中球数減少、血小板数減少、リンパ球数減少、CD4 リンパ球減少、赤血球数減少、ヘモグロビン減少 LDH 上昇、C-反応性蛋白増加、AST (GOT) 上昇、ALT (GPT) 上昇、IgM 低下、IgA 低下 悪心・嘔気、嘔吐、食欲不振、体重減少 便秘 下痢 疲労、全身倦怠感 発疹、そう痒 発熱、悪寒 頭痛 ほてり 静脈炎

特徴的な副作用について

リツキシマブにおける

infusion reaction

「発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、そう痒、発疹、咳、虚脱感、血管浮腫」などの症状

- * 血圧や脈拍などをモニターにて確認しながら点滴しますが、異常を感じた時はすぐに知らせてください。また、発熱、悪寒、頭痛等を軽減させるために、本剤投与の 30 分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を服用します。

シタラピンにおける

眼症状

「結膜炎、眼痛、羞明、眼脂、結膜充血、角膜潰瘍」などの症状

- * これらの症状は副腎皮質ホルモン剤の点眼剤により予防及び軽減することができます。ステロイド点眼剤が処方されますので医師の指示通りに使用して下さい。

皮膚症状

「四肢末端に発疹、発赤、紅斑（しばしば高度の痛みを伴う）」などの症状

- * これらの症状は副腎皮質ホルモン剤により軽減することができます。症状がある場合には医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

肝障害

「発熱（38～39℃）、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる、しだいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい」などの症状

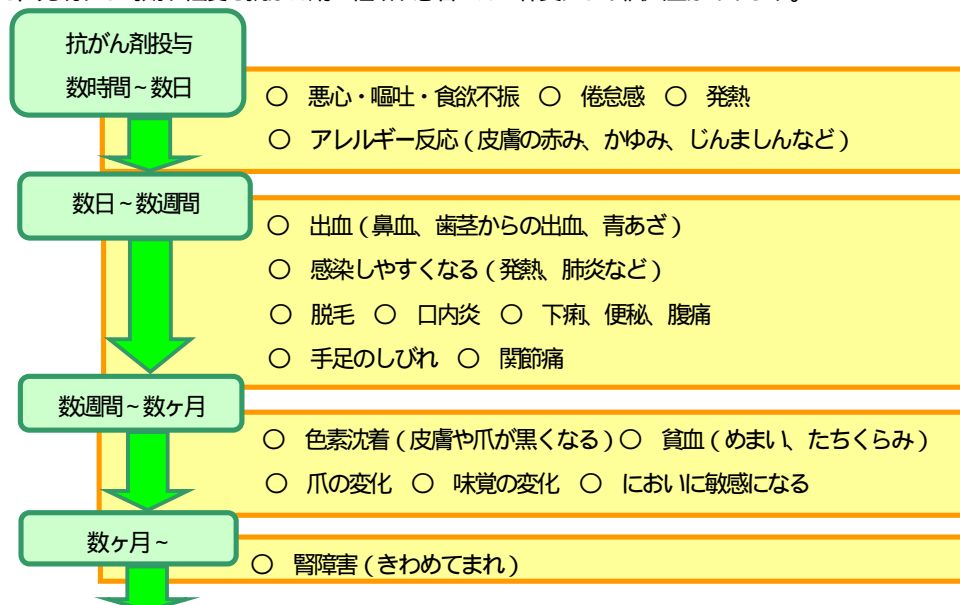
- * 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐、下痢と便秘、口内炎、感染症、出血、貧血、脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【リツキシマブ】

<infusion reaction>発熱、悪寒、悪心、頭痛、疼痛、そう痒、発疹、咳、虚脱感、血管浮腫などの症状

<腫瘍崩壊症候群>尿が少なくなる、血尿、意識が薄れる、痙攣

<B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪>白目や皮膚が黄色くなる；食欲不振・吐き気を伴った全身のひどい倦怠感；持続性の発熱

<肝機能障害、黄疸>発熱（38～39）；ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる、しだいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい

<皮膚粘膜症状>発熱；関節が痛い；皮膚が斑に赤くなる、水膨れができる；くちびる、口内がアザ；目が充血する

<汎血球減少、白血球減少、好中球減少、血小板減少>発熱、寒気がする、のどが痛む；口の中に白い斑点ができる；手足に赤い点（点状出血）または赤いあざ（紫斑）ができる、出血しやすい（歯ぐきの出血・鼻血など）；水のような下痢；口内炎；通常の生活をしていてだるさが続く、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる、顔色が悪いといわれる

<間質性肺炎>息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱

<心障害>動悸・息切れ、胸が痛い、足のむくみ

<腎障害>尿量の変化、手や足のむくみ

<消化管穿孔>胃のもたれ；食欲低下；胸やけ；吐き気、胃が痛い；空腹時にみぞおちが痛い、便が黒くなる

<血圧下降>

<脳神経症状>視覚障害、聴覚障害、感覚障害、顔面神経麻痺など

【トレアキシン】

<骨髄機能抑制>いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある

<感染症(敗血症、肺炎等)>寒気がする、ふるえを伴う急激な高熱がでる、脈拍が増加する、筋肉痛がある、関節が痛い、血圧が下がる、咳や痰が出る、息切れがする

<間質性肺炎>熱が出る、から咳が出る、息苦しくなる

<腫瘍崩壊症候群>尿が少なくなる・血尿、意識がうすれる、けいれん

<重篤な皮膚症状>高熱(38以上)、目の充血、口や唇のただれ、水ぶくれ

<ショック>顔が青ざめる、冷汗が出る、立ちくらみやめまいがする、息切れがする、意識がなくなる

<アナフラキシー様症状>息苦しくなる、蕁麻疹(じんましん)やかゆみが出る、眼や唇のまわりが腫れる、意識障害がある、心臓がドキドキする、身体がだるくなる、頬などが赤らむ

【シタラピン】

<骨髄機能抑制、感染症>貧血、出血しやすい、出血が止まりにくい、青あざができる、発熱など風邪のような症状、からだのだるい

<ショック>呼吸困難、全身がぼてる、唇・舌・まぶたのはれ、じんましん、顔面蒼白、めまい

<シタラピン症候群>発熱、筋肉痛、骨痛、中央にむくみを伴った赤い発疹、胸痛、結膜炎、倦怠感

<急性呼吸促進症候群、間質性肺炎>息苦しい、唇や手足の爪が青くなる、発熱、から咳、呼吸困難、頭痛、全身倦怠感

<高ビリルビン血症を伴う肝障害>全身倦怠感、食欲不振、吐き気、皮膚や白目が黄色くなる

<不整脈、心不全>気を失う、動悸、めまい、胸痛、横になるより坐っている時に呼吸が楽になる、呼吸困難、全身のむくみ

<消化管障害>みぞおちの痛みや圧痛、胸やけ、げっぷ、吐き気、血が混ざった便、黒色便

<中枢神経系障害>言語障害、運動失調、意識がぼんやりして睡眠に近い状態、集中力の低下、頭痛、物事が思い出せない、手足の震え

<肝膿瘍>右上腹部痛、吐き気、嘔吐、寒気、震えを伴う発熱（38～39）

<急性膵炎、肺浮腫、有痛性紅斑>上腹部または腰背部の激しい痛み、発熱、吐き気、息切れ、嘔吐、食欲不振、痛みを伴う赤い発疹

<眼症状>結膜炎、眼痛、羞明(まぶしい)、眼脂(目やに)、結膜充血、角膜潰瘍(目の異物感、涙が出る)

<皮膚症状>四肢末端に発疹、発赤、紅斑(しばしば高度の痛みを伴う)

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。